

(仮称)健康増進公園及び(仮称)健都ライブラリーの管理運営等について

市民の継続的な健康づくりやにぎわいの創出等に向け、医療関係者との連携や柔軟な発想による様々な取組など、健康増進公園及び健都ライブラリーが持つ役割や機能が最大限発揮され、市民の健康寿命の延伸につながる効率的で効果的な施設運営や質の高い管理を継続的に行うため、一部を除き、指定管理者制度による管理運営の検討を進めます。

※ 健康増進公園及び健都ライブラリーは、全て仮称です。

1 健康増進公園や健都ライブラリーの機能等

北大阪健康医療都市(健都)の緑のふれあい交流創生ゾーン1においては、緑豊かな日々の憩いの場に加え、災害時の防災機能を兼ね備え、「健康・医療」をキーワードに多世代が集い、交流できる健康増進公園として、健康への「気づき」「楽しみ」「学び」をコンセプトに健康・医療のまちづくりを担う公園の整備を進めています。

この健康増進公園の一部の機能として整備する健都ライブラリーは、市民の積極的かつ継続的な健康づくりを支援する拠点として、多世代が身近に利用でき、気づきや学びのコンセプトに合致する図書館が持つ機能を多機能化し、市民の継続的な健康づくりやにぎわいの創出等を担うパーク施設の機能が融合した施設です。

2 管理運営の方法

市民の継続的な健康づくりやにぎわいの創出等に向け、医療関係者との連携や柔軟な発想による健都ならではの様々な取組などにより健康増進公園及び健都ライブラリーが持つ役割や機能が最大限発揮される、市民の健康寿命の延伸につながる効率的で効果的な施設運営や質の高い管理を継続的に行うことが重要となります。また、健都に立地する図書館として、市民の健康寿命の延伸につながる健康づくりをサポートするこれまでにない図書館の取組を目指します。

(1) 考え方

指定管理者制度を活用し、民間の活力やノウハウ、創意工夫により、公園と健都ライブラリーを一体的に活用した健都ならではの健康づくりの取組や一体的な施設管理など、効率的、効果的な運営と質の高い管理を行います。

図書館本来の目的である教育・調査研究機関としての専門性、継続性(蓄積性)が重視される取組は、市内図書館と同様のサービスを提供するため直営で担います。また、指定管理実施以後においても健都に立地する施設や地域との連携等により新たな取組が期待され、そうした新しい取組にも柔軟に対応できます。

なお、図書館業務のうち窓口業務、蔵書管理業務などは、委託業務として別途事業者を選定します。

(2) 利点

ア 直営部分を除き一括指定管理することでスケールメリットがあり、経費削減効果が期待できます。

イ 民間ならではのノウハウや発想により公園と健都ライブラリーとが一体となった取組や参加者増加につながる取組等が創出され、「公園から始まる健康づくり」の実践や施設等の質の高い維持管理が可能となります。

ウ 図書館は、教育、調査・研究等の機能を有し、公的な資料を保持・活用を促進する施設であり、直営機能を維持することで選書やボランティア育成、児童サービス、学校連携など市内図書館と同様のサービスが提供できます。

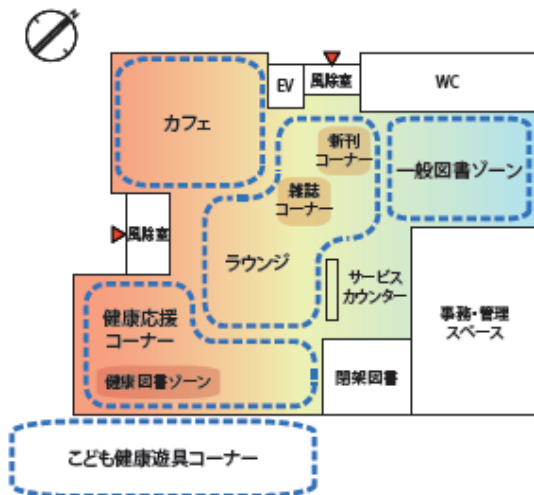
エ 直営部分を残すことにより、行政が実施する健康づくりにつながる様々な取組（運動、介護予防など）や健都立地施設との新たな取組への対応が可能となります。

3 健都ライブラリーのレイアウト案等について

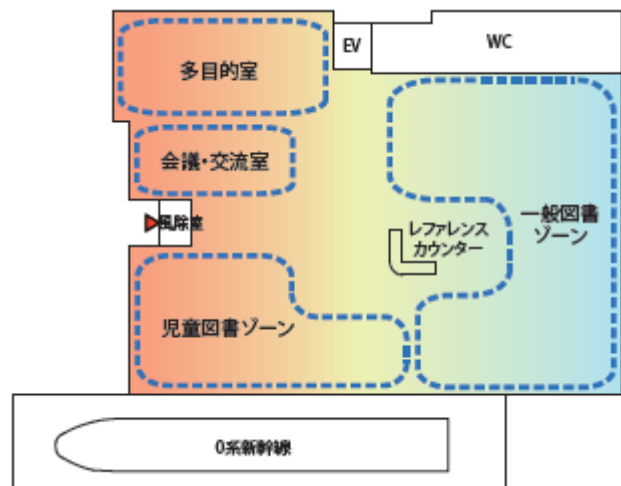
(1) レイアウト案について

多世代の人が気軽に立ち寄りやすく、一人でもグループでも居心地のいい場を創出すること、公園と健都ライブラリーが連続・一体化した空間環境を創出すること、親しみやすい図書館とすること、にぎわいと静けさを共存させた空間とすること、施設のどこからでも「健康」へのきっかけづくりから、楽しみ、学びにアプローチできること等、プロポーザルによる提案を踏まえ、以下のレイアウト案により設計を進めます。

1階



2階



(2) ゼロ系新幹線の活用について

ゼロ系新幹線については、幅広い世代から根強い人気があることを踏まえ、これまで運動や健康づくり、図書館に興味を持たなかった人や子育て世代もこの地を訪れるきっかけづくりとして活用します。また、高度成長を支えた鉄道のまちの記憶として、すいたメモリアルとしての機能を展開します。

プロポーザルによる提案を踏まえ、公園のランドマークとして活用が期待されること、新幹線への寄り付き段差をなくすことができること、新幹線下部が利用可能となること、外部からのいたずら防止等セキュリティ上の管理が容易なことから、健都ライブラリーの2階部分で活用することとします。